

平成18年8月1日
経済産業省
資源エネルギー庁

次世代エネルギーパークについて

新エネルギー等を実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じて、我が国の次世代エネルギーの在り方について国民理解の増進を図るための「次世代エネルギーパーク」に関し、今後の進め方についてまとめましたので、お知らせいたします。

1. 次世代エネルギーパーク整備の目的

原油が高騰を続けるなどエネルギー情勢が厳しさを増し、エネルギー安定供給確保がますます重要な課題となってきました。

こうした中、太陽光、風力等の新エネルギー設備等を整備した「次世代エネルギーパーク」を作り、新エネルギー等を実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じて、我が国の次世代エネルギーの在り方について、国民理解の増進を図ります。

2. 次世代エネルギーパークの考え方

次世代エネルギーパークは、小学生から高齢者まで国民各層が新エネルギーを中心に我が国のエネルギー問題への理解の増進を深めることを通じて、エネルギー政策の推進に寄与することを期待するものです。

そのため、以下の項目を満たすことを条件とします。

- (1) 運営主体は自治体又は3セクなど、自治体が主体的に取り組んでいること。
- (2) 維持費等の確保の見通しが立っており、運営主体による安定した運営・管理が見込まれること。
- (3) 多くの人々が訪れるよう、ハードやソフト面において、地元自治体や市民、地元企業等による地域の特色を生かした創意工夫がみられること。
- (4) 新エネルギー設備で得たエネルギーが周辺地区等において使用されること。
- (5) 原則として複数の種類の新エネルギー設備の見学が可能であること。

- (6) 既存の新エネルギー設備や関連施設がある場合は、これを最大限活用すること。

3. 次世代エネルギーパーク整備に向けた今後の進め方

(1) 平成18年度

- ①次世代エネルギーパークの整備を希望する自治体がパーク整備のプラン作りを行います。
- ②資源エネルギー庁は「地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定等事業費補助金」(18年度予算17億円、NEDOから自治体に1件当たり1000万円程度を補助。)により自治体のプラン作りを支援します。(同補助金の2次募集は、8月から開始。)

(2) 平成19年度以降

- ①原則、平成18年度に自治体が策定したパーク整備のプランを各地方経済産業局において審査の上、局が推薦するプランを絞り込みます(各局1件程度)。局の推薦を受けたプランをNEDO又は資源エネルギー庁において再審査し、評価の高いものから順次次世代エネルギーパーク整備に着手します。
- ②資源エネルギー庁は、地域新エネルギー導入促進対策事業、新エネルギー事業者支援事業、太陽光フィールドテスト事業、バイオマス関係補助等の関連予算を活用し支援します。
- ③平成19年度以降も、上記ビジョン策定等事業費補助金の募集を行い、最終的に全国で10件程度の次世代エネルギーパークが整備されることを念頭に取り組みます。

(本発表資料の問い合わせ先)

資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー対策課

担当者：市川(類)、佐藤

電話：03-3501-1511(内線4551)
03-3501-4031(直通)